

令和5年12月22日

令和5年度2学期終業式に際して

今年の夏（6～8月）の日本の平均気温が、1898年の統計開始以降で最も高かったと発表されたのは9月でした。今年の世相を表す漢字も、猛暑の「暑」あたりが選ばれるのだろうかと思っていたら、「税」で意外でした。神奈川の慶応高校が優勝した夏の甲子園も熱い戦いだったのに、あっさりとインボイスと減税メガネのインパクトに持っていかれましたね。

さて、足柄高校の2学期は熱かった。9月の文化祭では、台風接近騒ぎで、全日が午後登校となり、当日は開催時間を遅らせましたけれども、約2300名の来場者がありました。久しぶりに母校を訪れる方や、近隣の中学生や地元の方にも楽しんでいただけたイベントとなり、皆さんそれぞれに高校生活の1ページとなったと思います。また、2年生の九州修学旅行は、天気にも恵まれ、こちらでも高校生活の良き思い出となったことと思います。部活動では、神奈川県で目安とされている休養日の日数を確保した中で自分やチームの目標に近づくためにどのように工夫した練習を行うか、先生の指示だけではなく、自主的な練習や必要なのではないかと思います。その成果が発揮された一部ですが、後程披露いたします。

今年は、コロナウイルス感染症に対応した位置づけが変わり、学校生活もコロナ後で試行錯誤しながら進んできました。先生方の働き方改革も意識して、休日の部活動の勤務などでは、休暇を取ってもらえるような働きかけも行ってきました。また、学校行事の見直しを検討する中で、6月に行ってきた陸上競技大会の廃止を決定し、新たな体育的行事の創設に向けて、生徒会を窓口とした生徒の皆さんの意見等も踏まえながら、職員とともに形作っていきたいと考えています。

3年生にとってみれば、高校生活の集大成、進路先が決定した方も多くいましたし、これから共通テストや一般受験にチャレンジする生徒も多くいると思います。今まで、積み重ねてきたことは決して裏切らないので、体調を万全にして臨んでほしいし、周囲のクラスの仲間も一般受験組への気遣いのある配慮を忘れないでほしいと思います。進路が決まった方々に向けては、進学先からの課題に取り組み、短期間のタスクを設定する等、健康面のケアも含めて「自己管理」をお願いしたいと思います。自己管理というと、18歳成年の制度のもと、自己責任の範囲が拡大していることは、一人ひとりのモラルに任されているということだと思います。

1・2年生に向けて、2学期は学力の面で、全体的に大きく2分化されてくる時期だと見受けられた。2年生は、進むべき方向が定まってきた人は、授業を大切に臨み、結果につながってきた。1年生は、高校生活への慣れが、授業中の取組み方に影響し、理解できないことをそのままに放置してはいなかっただろうか。取り返す時期としてほしい。

全校生徒に向けて、最後になりますが、健康面の自己管理がまずは最も大切かな。これは、サポートブックで皆さんの声を面談という形で聞き取ることもできた面があり、行ってよかったと思っている。困っているときは、どのような形式でもよい、周囲に気づいてもらえるように自ら発信してほしい。きっと、気付いてくれる人がいるから。1月の休み明けは心身ともに元気な状態でお会いしたい。さらに言うと交通事故等は誰も幸せにしないので、こちらも1・2年生スケアードストレイトを思い出して、事故の悲惨さを想像してほしい。以上、多くのことを話して来ましたが、私の最も強い願いは一つ、「いのちはたった一つしかないのだから、だから大切にします」。